

通学路の安全点検 チェックポイント



お子さんたちの通学路を一緒に歩いてみたことはありますか？一緒に安全点検を行うことで、保護者の方のアドバイスはお子様確実に響きます。各場面でのチェックポイントをまとめていますので交通事故防止に御活用ください。

また、裏面には熊本県警察交通事故発生状況マップのQRコードを添付しますのでご近所での事故発生状況もご確認ください。

1

横断歩道

- 安全な待機場所があるか？
- 交通指導員さんがいるか？
- 植樹などでドライバーから待機児童が見えにくいのか？
- カーブの直近などドライバーから横断歩道が見えにくいのか？



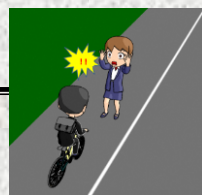
交通指導員さんの指示に従うことや、手を前に出してドライバーに渡る意思を示し、車が止まってから渡ること。渡っているときも左右の安全を確認することなどを教えてあげましょう。



2

歩道・路側帯

- 安全に歩ける十分な幅員があるか？
- 駐車車両や自転車が少なく、車道にはみ出ずに通行できるか？
- 歩道が途中でなくなり、車道を歩く場所がないか？
- コンビニ等店舗の駐車場に面し、出入りする車両が多くないか？



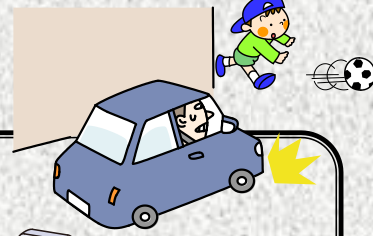
片側にしか歩道・路側帯がない場所では、できる限り歩道・路側帯を歩くこと。友達とふざけて車道に飛び出したりしないことを教えてあげましょう。



3

交差点

- 待機場所は防護柵などの設置があるか？
- 歩行者用信号の秒数は短くないか？
- 家の塀や植樹などにより、子供・ドライバー双方の見通しが悪くないか？



歩行者用信号が「青」であっても、右左折の車がくること。見通しが悪い交差点では、ドライバーからもお子様が見えないため、一度立ち止まって車が来ていないか確認することなどを教えてあげましょう。



4

雨天時

- 大きな水たまりができる場所はないか？
- フタのある側溝の割れや水路への転落のおそれはないか？
- 歩道・路側帯の幅員が狭く、電柱などがあり、傘をさしたまま歩けない場所はないか？



雨天時は傘などにより視界が狭まってしまうことや、ドライバーの視界も悪くなることを教えてあげましょう。



5

その他

また、万が一交通事故に遭ってしまった場合は、**110番通報、学校、保護者に連絡すること**を教えてあげましょう。
※交通事故発生マップはこちらから→



お子様と一緒に通学路を歩いて、保護者の目で危険がないかをチェックし、アドバイスしてあげましょう。子供にとって危険な場所はドライバーにとっても注意しなければならない場所です。大切な小さな命を守るためにもハンドルを握るときは安全運転に努めましょう。

